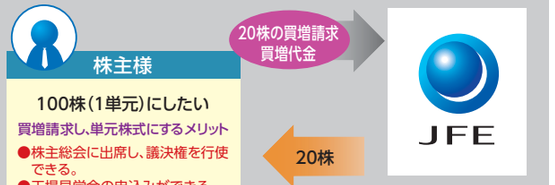
株式のお手続きに関するお知らせ

単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については市場で売買はできませんが、当社に対して100株（1単元）となるよう買増請求（購入）することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求（売却）することができます。

1.買増請求（購入）の場合

例：株主様が80株を所有している場合



2.買取請求（売却）の場合

例：株主様が80株を所有している場合

・証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。
・それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

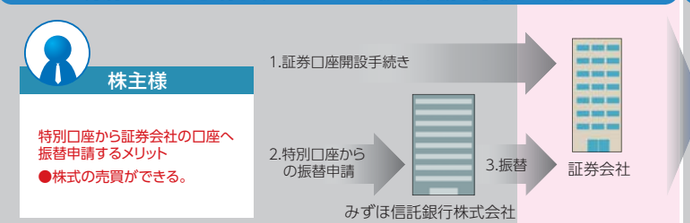
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
0120-288-324（平日9：00～17：00）

特別口座から証券会社等の口座への振替について

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません（単元未満株式の当社への売却を除く）ので、証券会社に取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替える手続き（振替申請）をお勧めします。

※現在株券をお持ちの株主様や、以前株券を持っていたが現在所在が分からなくなった株主様は、特別口座で管理されている可能性がありますので、当社特別口座管理機関みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。

特別口座から証券会社の口座への振替申請の手続きの場合



手続きに関するお問合せについて

手続き内容	お問合せ先
特別口座から証券会社の口座への振替請求	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 （平日　9:00～17:00）

※旧JFE商事および旧豊平製鋼株式にかかる特別口座の口座管理機関について
当社とJFE商事(株)および豊平製鋼(株)の株式交換の効力発生日の前日において、株式を特別口座でご所有の株主様につきましては、三井住友信託銀行株式会社（0120-782-031）が特別口座の口座管理機関となっております。

JFE ホールディングス 株式会社　〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
ホームページアドレス http://www.jfe-holdings.co.jp/

証券コード:5411

株主の皆様へ

第11期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

JFE Group

JFE

JFEグループは、常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

JFE ホールディングス 株式会社

平成24年度決算の概要や今後のJFEグループの事業戦略やビジョンについてお答えします。

代表取締役社長（CEO）　馬田 一

Q1 まず初めに平成24年度の業績の概要を教えてください。

A1
- ▶ 鉄鋼事業では、販売価格の下落および棚卸資産評価差等の影響により減益
- ▶ グループ全体では前期並みの経常利益を確保

平成24年度の経済環境は、東日本大震災からの復興需要による支えはあるものの、海外経済の減速等の影響により厳しい状況が続きました。

そのような状況のもと、JFEグループでは収益改善への取り組みを一層強化するとともに海外ならびに環境・エネルギー分野等への対応に注力してまいりました。

鉄鋼事業では、販売数量は増加しましたが、販売価格の下落により売上高は減少しました。損益では、1,200億円のコスト削減を実施したものの、原料市況悪化による棚卸資産評価差等の影響により経常利益は153億円と前期に比べ減益になりました。

エンジニアリング事業は、環境・エネルギー分野を中心に前期並みの売上高を確保しましたが、鋼構造分野において建築鉄構事業から撤退したことにより減収になりました。損益ではコスト削減を徹底したことにより経常利益は164億円と前期に比べ増益になりました。

商社事業は、鉄鋼製品の市況下落と海外子会社の収益減等により、当社の連結子会社となった平成24年10月以降の6ヵ月間の経常利益は74億円となりました。

造船事業は、当社の連結子会社であった平成24年12月までの期間に新造船17隻を引き渡し、9ヵ月間の経常利益は80億円となりました。

以上の結果、グループ全体では売上高は増収となりましたが、経常利益はほぼ前期並みの522億円となりました。

当期末の配当は、当期純利益の水準を踏まえ、1株当たり20円とさせていただきました。

Q2 今後の事業環境と、各事業ごとの取り組みについて教えてください。

A2
- ▶ 鉄鋼・エンジニアリングを中心とした事業体制の強化
- ▶ 世界的な需給ギャップが拡大するなか収益基盤強化に注力

JFEグループは、次なる成長に向けて、昨年10月にJFE商事（株）を完全子会社化、本年1月にはユニバーサル造船（株）と（株）アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドとの経営統合により、ジャパン マリンユナイテッド（株）を設立し、鉄鋼・エンジニアリングを中心とした体制を強化するとともに、造船事業でも業界トップクラスの地位確立を目指す体制といたしました。

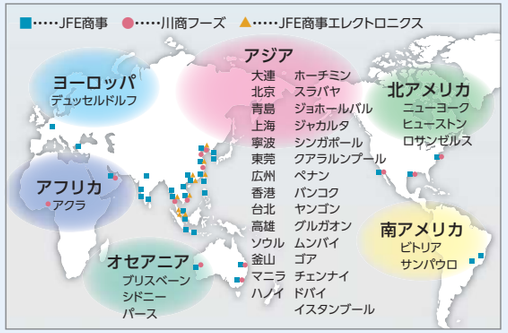
今後の事業環境につきましては、景気の持ち直しの動きは見られますが、海外経済の不透明感や、世界的な需給ギャップの拡大等、厳しい状況が継続すると考えております。

JFEスチール（株）では、今年度も1,000億円規模のコスト削減を実施し、厳しい環境下でも確実に収益をあげられる基盤を構築してまいります。また、中国、タイにおいて新設備を着実に立ち上げる一方、インドのJSWスチール社、タイのサハビリヤ・スチール社との関係強化等、海外展開をさらに深化させてまいります。

JFEエンジニアリング（株）では、多様化する電源需要に対して、顧客ニーズを先取りした提案を行っていくとともに、海外では東南アジアを中心に、顕在化する都市環境問題に対してソリューションを提供し、着実な受注に結び付けてまいります。

JFE商事（株）では、JFEグループとしての戦略の一体化を一段と進め、加工・販売体制を活用した提案型の営業活動を実施していくとともに、海外では商社としての情報収集力を最大限に発揮し、アジア地域に加え、中近東、アフリカ等、輸出拡販戦略を推進してまいります。

JFE商事のネットワーク



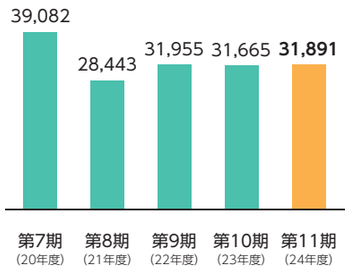
Q3 最後に、株主の皆様へ一言お願いします。

JFEグループは、引き続き企業としての持続的成長を図り、すべてのステークホルダーの皆様にとっての企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様には、今後ともご指導ご支援賜りますようお願い申しあげます。

連結財務ハイライト

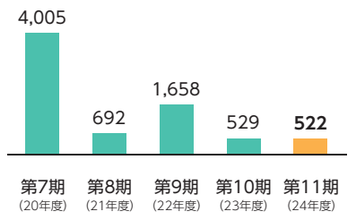
売上高

(単位:億円)



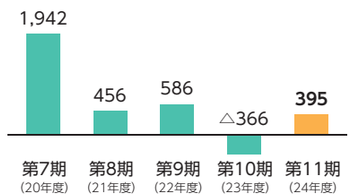
経常利益

(単位:億円)



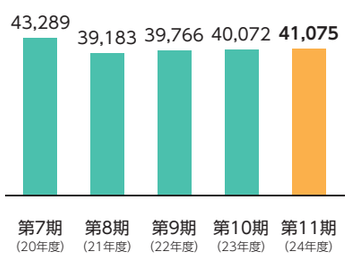
純利益

(単位:億円)



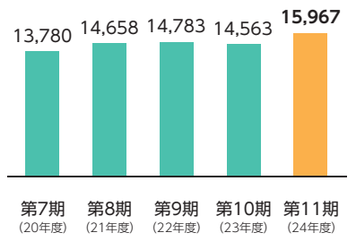
総資産

(単位:億円)



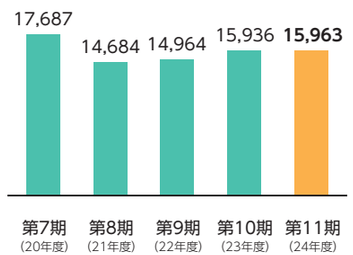
純資産

(単位:億円)



借入金・社債等残高

(単位:億円)



財務指標

ROS※1	ROA※2	自己資本比率	D/Eレシオ(格付けベース)※3
1.6%	1.6%	37.9%	76.9%

※1 ROS=経常利益／売上高
※2 ROA=(経常利益+支払利息)／総資産
※3 D/Eレシオ=借入金・社債等残高／自己資本、格付けベース:格付評価上資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関による評価により、75%を資本とみなした場合

事業セグメント別情報(平成25年3月31日現在)

鉄鋼事業

粗鋼生産量 3,069万t
売上高 2兆4,998億円
経常利益 153億円

JFEスチール株式会社

代　表　者　代表取締役社長 林田 英治
従 業 員 数　42,519名*連結
事 業 内 容　各種鉄鋼製品、鋼材加工製品、原材料等の製造・販売、ならびに運輸業および設備保全・工事等の周辺事業
生 産 拠 点　東日本製鉄所(千葉地区・京浜地区)
西日本製鉄所(倉敷地区・福山地区)
知多製造所

エンジニアリング事業

売上高 2,675億円
経常利益 164億円

JFEエンジニアリング株式会社

代　表　者　代表取締役社長 岸本 純幸
従 業 員 数　7,379名*連結
事 業 内 容　エネルギー、都市環境、リサイクル、鋼構造、産業機械等に関するエンジニアリング事業
生 産 拠 点　鶴見製作所／津製作所／清水製作所

商社事業

売上高 7,856億円
経常利益 74億円

JFE商事株式会社

代　表　者　代表取締役社長 矢島 勉
(平成25年4月1日現在)
従 業 員 数　5,980名*連結
事 業 内 容　鉄鋼製品、製鉄原材料、非鉄金属製品、食品等の仕入、加工および販売

※商社事業は、JFE商事(株)が連結子会社になった平成24年10月1日から平成25年3月31日までの6ヶ月間の業績となっています。

Steel business 鉄鋼事業

タイで溶融亜鉛鍍金鋼板製造設備が稼働

JFEスチール(株)が100%出資しているJFEスチール ガルバナイジング(タイランド)社にて、タイ初の自動車用溶融亜鉛鍍金鋼板製造設備が稼働しました。今後は試験生産、お客様のご承認を経て、本格的に営業生産を開始する予定です。

タイは、既に多くの自動車会社が生産・輸出拠点を構える東南アジア最大の自動車生産国であることに加え、今後も自動車会社の生産能力の増強、工場新設が計画されており、自動車用高級鋼板需要のさらなる拡大が見込まれます。

本事業を通じ、自動車会社の現地調達要請にお応えするとともに、より一層高度化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

Steel business 鉄鋼事業

タイ サハビリヤ・スチール社、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)と協力関係の強化について合意

JFEスチール(株)は、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)と共に、タイで最大の熱延鋼板メーカーであるサハビリヤ・スチール社(SSI)に対し、出資を含め協力関係を強化することで合意しました。

SSIとは既に合弁会社(TCR)を有しており、SSIおよびTCRに対して、JFEスチール(株)から鋼材供給の拡大、および技術支援を行ってまいります。

自動車産業が集積するなど、成長著しいタイの鉄鋼市場においてお客様の現地調達要請にお応えするとともに、タイ市場のみならずアセアン市場全体における成長戦略を一層強力に推進してまいります。

Steel business 鉄鋼事業

横浜・八景島シーパラダイスの新施設「うみファーム」に鉄鋼スラグ製品が採用

JFEスチール(株)の鉄鋼スラグ製品である「マリンブロック」が、平成25年3月に開業した横浜・八景島シーパラダイスの新施設「自然の海の水族館　うみファーム」に採用されました。自然の海の環境を形成して生物多様性を高め、海の生物による水質改善に貢献します。

Engineering business エンジニアリング事業

新電源へのソリューションを提供

再生可能エネルギーの全量買取が開始され、多様化する電源確保への投資が活発化しています。JFEエンジニアリング(株)は、バイオマス、太陽光、地熱などの、利用されていない自然エネルギーを活用する最先端技術や発電ノウハウを発電事業者に提案し、事業を展開しています。

バイオマス発電では、高知県のPKS(ヤシ殻)専焼プラントに続き、島根県でかんばつ材の木質チップを燃料とするプラントを受注いたしました。

太陽光発電では、各地でメガソーラーの設計・建設を受注するとともに、自社でも全国7地区で事業化の準備を進めています。

地熱発電事業化調査(八幡平市)

地熱発電では、鹿児島県指宿市において、わが国で14年ぶりに建設される地熱発電所であり、低温蒸気を利用した、高効率で環境重視型のバイナリー設備を受注いたしました。また、岩手県八幡平市では地熱蒸気の試掘を開始し事業化を目指しています。

Engineering business エンジニアリング事業

ふじみグリーンプラザ(三鷹市)

国内外で都市環境プラントを稼働

JFEエンジニアリング(株)は、国内外で次々に大型都市環境プラントを完成し、稼働させました。

国内では新潟市、西宮市および三鷹・調布市のプラントを完成し、設計・建設・運転までを一貫して請負うDBO契約に基づき、今後20年間にわたって運転や保守に携わります。これらの施設は当社独自の高性能プラントを採用しており、ごみを安定的に燃焼し、高効率で発電することができます。

海外では中国において、青島市の環境プラントを引き渡し、上海市のプラントでは試運転を開始しました。現地では、低カロリーで燃えにくい中国のゴミを確実に処理する技術が高く評価されています。今後も都市環境プラントのトップカンパニーとして、国内、海外ともに最新技術を提供し、受注拡大を図ってまいります。

Trading business 商社事業

海外15ヵ所目のコイルセンターが稼働

JFE商事(株)の海外15ヵ所目の鋼材加工センター、JFE商事スチール・インディア(略称：JSI)が完工し、平成25年3月に生産を開始しました。JSIではJFEスチール(株)の方向性電磁鋼板を中心に、月間2千トンの加工・販売を目指します。また、将来的にはJFEスチール(株)の提携先であるインド・JSWスチール社の生産する無方向性電磁鋼板を取り扱うことも検討してまいります。

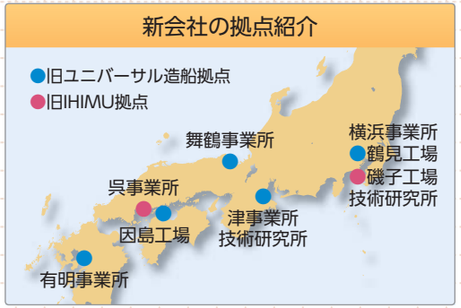
JFEグループトピックス

Trading business 商社事業

ガーナ・ナイジェリアの小学校に机・椅子等の備品を寄付

JFE商事グループは、ノザキのコンビーフで有名な川商フーズ(株)の海外向け缶詰ブランドが、一昨年に100周年の節目を迎えたことを機に、主要販売先であるガーナ、ナイジェリアの子供たちへ、小学校で使用する机・椅子等を寄贈しています。今後も現地事情を考慮した社会貢献活動を継続し、重点地域の一つである西アフリカ地域の発展に寄与してまいります。

▶ ジャパン マリンユナイテッド(株)発足



平成25年1月、ユニバーサル造船(株)と(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドは経営統合により、「ジャパンマリンユナイテッド株式会社(以下JMU)」として新たに生まれ変わりました。

JMUは全国に有明、呉、津、舞鶴、横浜(磯子・鶴見)、因島の7拠点と技術研究所(津・横浜)を有し、商船事業、艦船事業、エンジニアリング事業、ライフサイクル事業の4つの事業分野を展開しています。造船所の特性を最大限に活かした最適生産体制を追求するとともに、統合により拡大した設計陣容により開発力を強化し、新商品開発のスピードアップを図り、船舶・海洋分野の「技術」と「ものづくり」で、社会の発展に貢献してまいります。

本年1月9日に呉事業所において命名式が執り行われた「かいもん丸」は、全長約246メートル、総トン数約66,200トンの大型タンカーで、JMUとして初めての命名・引渡し船となりました。

JMUは、これからも高い技術力で世界のお客様にご満足いただける船舶を建造してまいります。

会社概要

会社概要(平成25年3月31日現在)

名称(商号)	JFE(ジェイ エフイー)ホールディングス株式会社 [英文名称: JFE Holdings,Inc.]
本店 所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 電話 03(3597)4321(代表)
設立	平成14年9月27日
資本金	1,471億円
従業員数	連結:57,044名　単独:39名

株式の現況(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	2,298,000,000株
発行済株式総数	614,438,399株
株主数	304,266名

経営体制(平成25年6月20日現在)

取締役

代表取締役社長	馬田　一	
代表取締役	林田　英治	
代表取締役	岡田　伸一	
取締役	岸本　純幸	
取締役(社外)	芦田　昭充	
取締役(社外)	前田　正史	

監査役

監査役(常勤)	笹本　前雄	
監査役(常勤)	黒川　康	
監査役(社外)	伊丹　敬之	
監査役(社外)	杉山　清次	

執行役員

社長	馬田　一	CEO(最高経営責任者)
副社長	岡田　伸一	総務部、経理部の統括 企画部、財務・IR部の担当
常務	山村　康	経理部の担当
常務	寺畑　雅史	総務部の担当

株式事務のご案内

決算期	3月31日
定時株主総会	6月に開催
定時株主総会および剰余金の配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324
特別口座に関する事務取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	電子公告
【アドレス】	http://www.jfe-holdings.co.jp/

平成25年度 工場見学会のご案内（募集要項）

株主の皆様に当社へのご理解を一層深めていただけるよう、引き続き工場見学会ならびに会社概況説明会を開催いたしますので、ご案内申しあげます。

本年度に開催予定のすべての日程（開催期間：平成25年10月～平成26年3月）につき、今回まとめて募集いたします。11月末発送予定の「株主の皆様へ」での募集予定はございませんので、本年度の見学会へ参加をご希望の方は、必ず今回お申込みくださいますようお願い申しあげます。

対象者
平成25年3月31日現在、当社株式100株以上をご所有の株主様（同伴者1名まで可）
※お子様の同伴は小学生以上とさせていただきます。

締切日
平成25年7月12日（金）
（当日消印有効）

募集人数

JFEスチール（株）
東日本製鉄所（千葉地区）：各回135名様
（京浜地区）：各回135名様
西日本製鉄所（倉敷地区）：各回120名様
（福山地区）：各回120名様

JFEエンジニアリング（株）
リサイクル工場（京浜地区）：各回 60名様

JFEエンジニアリング（株）・ジャパン マリンユナイテッド（株）
（津地区）：各回 60名様

※人数には同伴者を含みます。

応募方法
同封のはがきをご返送いただくか、当社ホームページ（アドレスhttp://www.jfe-holdings.co.jp/）からご応募ください。

参加費
無料
（但し、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）

お問合せ先（工場見学会専用）
JFEホールディングス（株） 株主名簿管理人
みずほ信託銀行（株）証券代行部
0120-300-676［9:00～17:00（土・日、祝祭日を除く）］

※お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
抽選結果につきましては、別途ご連絡（平成25年9月上旬頃）させていただきます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申しあげます。
※お申込みの際に、記載事項にもれ等の不備がございます場合、無効とさせていただくことがございますのでご承知おきください。

工場見学会の概要

■JFEスチール（株）東日本製鉄所

実施日時

（千葉地区）
申込番号① 平成25年11月21日（木） 9:00頃～12:00頃
申込番号② 平成25年11月21日（木） 13:30頃～16:30頃
申込番号③ 平成25年12月 7日（土） 9:00頃～12:00頃
申込番号④ 平成25年12月 7日（土） 13:30頃～16:30頃
申込番号⑤ 平成26年 1月22日（水） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑥ 平成26年 1月22日（水） 13:30頃～16:30頃

（京浜地区）
申込番号⑦ 平成25年10月 2日（水） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑧ 平成25年10月 2日（水） 13:30頃～16:30頃
申込番号⑨ 平成25年11月 9日（土） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑩ 平成25年11月 9日（土） 13:30頃～16:30頃
申込番号⑪ 平成25年12月 4日（水） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑫ 平成25年12月 4日（水） 13:30頃～16:30頃

集合場所・解散場所
（千葉地区）JR千葉駅周辺
（京浜地区）JR川崎駅周辺

■JFEエンジニアリング（株） リサイクル工場

実施日時

（京浜地区）
申込番号⑬ 平成25年10月10日（木） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑭ 平成25年10月10日（木） 13:30頃～16:30頃
申込番号⑮ 平成25年12月18日（水） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑯ 平成25年12月18日（水） 13:30頃～16:30頃

集合場所・解散場所
JR川崎駅周辺

■JFEスチール（株）西日本製鉄所

実施日時

（倉敷地区）
申込番号⑰ 平成26年 2月 5日（水） 9:00頃～12:30頃
申込番号⑱ 平成26年 2月 5日（水） 13:30頃～17:00頃

（福山地区）
申込番号⑲ 平成26年 2月 4日（火） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑳ 平成26年 2月 4日（火） 13:30頃～16:30頃

集合場所・解散場所
（倉敷地区）JR新倉敷駅北口 または 西日本製鉄所倉敷地区（駐車場あり）
（福山地区）JR福山駅北口 または 西日本製鉄所福山地区（駐車場あり）

■JFEエンジニアリング（株）
■ジャパン マリンユナイテッド（株）

実施日時

（津地区）
申込番号㉑ 平成25年11月13日（水） 10:30頃～15:00頃
申込番号㉒ 平成25年11月13日（水） 12:00頃～16:30頃
申込番号㉓ 平成25年11月14日（木） 10:30頃～15:00頃
申込番号㉔ 平成25年11月14日（木） 12:00頃～16:30頃
申込番号㉕ 平成26年 3月 5日（水） 10:30頃～15:00頃
申込番号㉖ 平成26年 3月 5日（水） 12:00頃～16:30頃
申込番号㉗ 平成26年 3月 6日（木） 10:30頃～15:00頃
申込番号㉘ 平成26年 3月 6日（木） 12:00頃～16:30頃

集合場所・解散場所
近鉄久居駅東口

見学にお越しいただくことが確定した株主様へは、別途詳細をご案内申しあげます。
天候等の事由により、見学会の延期・中止、またはご見学内容の変更等が生じる場合がございますので、あらかじめご了承賜りますようお願い申しあげます。

※ご応募により当社が取得する個人情報は、本工場見学会実施のほか議決権行使に関するご案内や、株主様向けの活動充実のために使用させていただく場合がございます。